－姉妹都市３市長てい談－

# 新たな姉妹都市交流を提案！

少年スポーツや物産の販売などを通して、姉妹都市交流を展開している北海道登別市と神奈川県海老名市。歴史的な縁と誘致企業を通じた縁で結びついた姉妹都市の首長が、これまでの姉妹都市交流を生かして新たな連携を話し合いました。

北海道、東北、関東の地域性と、それぞれが持つ魅力を生かした新たな交流と連携が飛び出す「てい談」となりました。

登別市長　小笠原春一（おがさわらはるいち）さん

白石市長　風間　康静（かざま　こうじょう）

海老名市長　内野　優（うちの　まさる）さん

### Mr.Ogasawara's profile

昭和42年２月18日登別市生まれ、41歳
平成元年３月、東京農業大学農学部卒業、同年４月からは家業の造園会社の専務取締役、平成20年８月登別市長に初当選、現在１期目

### Mr.Kazama's profile

昭和35年12月23日白石市生まれ、49歳
昭和58年３月、立正大学仏教学部卒業、平成３年４月から学校法人ひかり幼稚園副園長、平成16年11月白石市長に初当選、現在２期目

### Mr.Uchino's profile

昭和30年10月13日海老名市生まれ、54歳
昭和53年３月、専修大学法学部卒業、昭和58年10月から海老名市議会議員を４期務め、平成15年11月海老名市長に初当選、現在２期目

## 姉妹都市「登別市」と「海老名市」

登別市は、支笏洞爺国立公園に位置し、風光明媚な東洋一の温泉郷があるまちとして知られています。このまちの基礎を築いたのは、白石城主の片倉邦憲公一行と言われており、戊辰戦争後に、新天地を求めて北海道に移住しました。

この歴史的な縁で、友好と理解を深めてお互いに協力をしながら発展することを願って、昭和58年10月26日、姉妹都市となりました。

もうひとつの姉妹都市である海老名市は、神奈川県のほぼ中央に位置する田園都市。奈良時代からの歴史を重ねて、数多くの文化財があります。また、鉄道３線９つの駅があるとともに、今春にはインターチェンジも供用開始になるなど、交通至便なまちです。

地域特性の違う両市が、互いに協力し合って勉強しようと友好都市の提携を行ったのは、平成３年11月。その後、より親密な交流を行うことを目的に、平成６年10月23日に姉妹都市となりました。

現在、両市とはスポーツ・文化・物産などをはじめ、さまざまな交流を盛んに行っています。



## 海老名市から白石市や登別市への修学旅行の可能性

**内野市長**：「交通の利便性が高くなっている中で、神奈川県ではさがみ縦貫道路（※1）という新しい道路を建設中です。そのインターチェンジが今年、海老名市にできます。将来的には中央高速道路や関越自動車道、常磐自動車道そして東北自動車道とも接続します。これによって都内を通るより、ものすごい時間短縮になります。今は白石市までバスで6時間かかりますが、それが4時間くらいになります。そうすると、今まで海老名市の小学校が行く修学旅行の定番は日光です。それをひとつ足を伸ばして白石市に一泊して仙台などへ行くという方法もあります。時間の面では今と変わりません。中学校は京都・奈良、広島、今年は秋田にホームステイなど学校が自由に決めています。なぜ秋田なの？　宮城でいいんじゃないの？　という思いもありますが、教育の分野へも広げていくことで、学校の行事へも姉妹都市交流を組み込んでいくと、これはすごい効果があると思いますね」

**小笠原市長**：「登別市では、修学旅行生の誘客に力を入れています。冬は九州や沖縄、四国へ、夏は横浜に営業に行きました。横浜は今の中学2年生は行き先が決まっているので、1年生の先生方に対して営業中です。今考えると海老名市がありましたよね。ただ、私が考えているのは、来ていただくばかりではなくて、来ていただいたら私たちも何かで還元しなくてはいけないということです。修学旅行を通じた交流というものができれば、持ち帰ってじっくり話をしたいと考えています」

**風間市長**：「白石市の中学校の修学旅行先は、東京や横浜といった関東です。白石中学校が修学旅行で鎌倉に行くときは、海老名市の有馬中学校の生徒の皆さんに、案内していただいています。これには、下地として少年野球の交流があって、修学旅行の中での交流が始まりました。姉妹都市交流というと、白石市と登別市、白石市と海老名市という形であり、海老名と登別は姉妹都市ではありません。3市が集まったことで「何かできないだろうか」というのが今後のひとつの課題だと思うのです。その中で、3市の小中学生が修学旅行でのつながりが出てくると、また新たな発展があるのではないかと思います」

**この内野市長のお話は、本市にとっても登別市にとってもうれしいお話であり、実現できたなら素晴らしいことです。小中学校生活の中で最大のイベントである修学旅行先が、本市や登別市であることは、将来の3市交流の新しい縁となる事業となっていくに違いありません。**

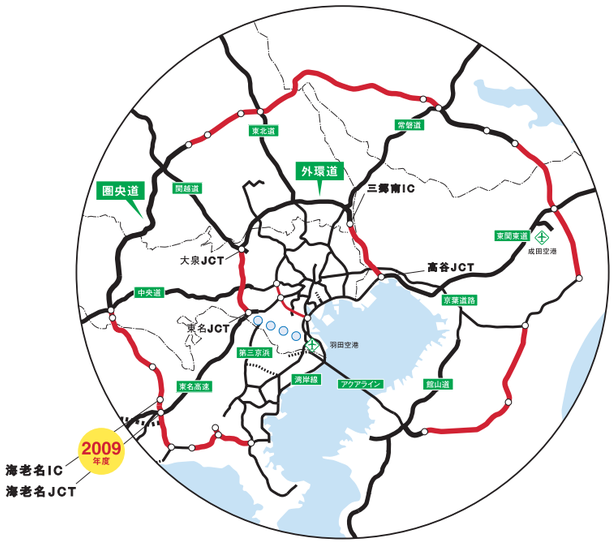
▲これからの交流のあり方を話し合う３人の市長

※1　さがみ縦貫道路

東京圏の最も外側の環状道路として整備が進められている、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の一部。東京都心に集中している自動車交通を分散し、都心の交通混雑を解消することを目的に計画された路線である。神奈川県では周辺道路の混雑解消や都市間の連携強化、産業の発展などが期待される重要な自動車専用道路であり、今年の春には、海老名ＩＣ～海老名ＪＣＴ間が開通する予定となっている。

【参考：神奈川県および国土交通省関東地方整備局ホームページ】

■さがみ縦貫道計画図【提供：国土交通省関東地方整備局】



さがみ縦貫道の海老名ICとJCTは、平成22年３月まで完成する予定。工事は着々と進んでいます（写真提供：海老名市）▶